

令和5年10月24日

デジタル技術の活用及びDX推進の取り組み状況

有限会社くわはら動物病院

1. デジタル技術の重要性

デジタル技術の活用は、顧客満足度を向上させ、当社の競争力に対し好影響を及ぼす非常に重要な要素だと考えています。

具体的には以下の3点より、競合優位性が高まります。

A) 労働生産性の向上

動物用生体情報モニターAM140A2では患畜の状態を常に自動で表示し、これまで手作業で確認していた手間が省かれます。また最新の動物専用エックス線装置の導入によりエックス線撮影の所要時間も大幅に短縮されます。最新のデジタル技術を活用することで、院内の労働生産性を向上させます。

B) 見える化の推進

最新のDR機器はこれまで専門家ではないと把握できなかったペットの体内の疾患やケガの状態を、デジタル技術により飼い主様に目で見て理解していただくことが可能になります。より理解をして頂いた上での治療を進めることで、インフォームドコンセントを徹底します。

C) 安全性の向上

医療現場において、安全性を向上させ医療ミスの可能性を極限まで低くすることは、レピュテーションリスクを低減するためにも非常に重要です。デジタル技術により術中の作業を自動化することで、人為ミスがなくなり、安全性が向上します。

2. 上記を踏まえた弊社の経営ビジョン

「デジタル技術を十分に活用して、低ストレス医療を提供する高度動物医療施設へ」

当院は本事業を通じて歯科系の疾患に特化した処置設備を導入します。本設備では患畜にとって低ストレスな高度な医療を提供します。デジタル技術の活用により当院内と患畜、飼い主様にとって多くのメリットを持ちます。顧客満足度の向上によって患者数が増加し、経営面で弊社に寄与します。

3. 当社の経営ビジョンの実現のための戦略

- 歯科
- 疾患以外にも今後継続的にデジタル化の検討
- デジタルリテラシーを強化する教育
- 上記をより推進するための外部専門家との連携

令和5年10月24日

4. 戦略推進のための組織体制

